

千葉キワニスクラブの贈呈式に臨んだ受賞者ら＝4日、京成ホテルミラマーレ (平田浩一撮影)



「てらこやちば」に社会公益賞

千葉キワニスクラブ贈呈式を開催

公益的活動を続け、特に子供への支援活動に力を入れる社会奉仕団体「千葉キワニスクラブ」(後藤藤夫会長)は4日、第36回社会公益賞、第27回教育文化賞、第15回国際親善賞の各受賞者を決め、千葉市中央区の京成ホテルミラマーレ

で贈呈式を行った。社会公益賞には、千葉市を中心に子供・若者・大人が世代を越えてともに学び、ともに成長する地域共育を実施するNPO団体「てらこやちば」(飯田拓郎代表)が選ばれた。教育文化賞は、日本語を

母国語としない児童生徒のために、日本語学習を支援する「千葉市JSL児童・生徒支援の会」(小林稔子代表)に授与された。留学生を対象とした国際親善賞の最優秀賞は、柳時源さん(33)＝韓国、千葉科学大1年、優秀賞は具書峰さん(30)＝中国、千葉大大

学院とブリン・ホーム・バハ「歴史的背景などから日本ドゥルさん(26)「ネパールを良く思わない韓国人は少なくないが、私たちがお互いをよく知らない。友達の本」と題し、来日以來感じ、感した」と語った。

キワニスクラブ

「ロータリークラブ」「ライオンズクラブ」と並び、世界三大社会奉仕団体の一つ。「世界の子どもたちに奉仕する」という理念の下、1915年に米ミネソタ州オロウトで創設。世界各地にクラブを持ち、千葉キワニクラブは12番目の日本のクラブとして昭和58年に設立された。